

東邦建設工業が AEDを寄贈

会場に東京都水道局とAED講習コーナーがあり、高専通りでは現在「地震に強い水道管」の工事が行われており、あと2カ月で完了します。その工事を請け負っている東邦建設工業が安全のために準備しているAEDをご迷惑をかけた地域の方（同町会）に寄贈する事になったそうです。そこで、住民

の集まる運動会で耐震工事の説明とAEDの講習会を実施したという訳です。東京都水道局の方によると『地震に強い水道管は耐震管（NS管、GX管）と呼ばれ、繋ぎの部分が可動するようになってきます。現在の普及率は29%ですが、今後10年間で54%にする事が計画されています』との事でした。

水道管路の耐震継手化10力年事業

東日本大震災では、約257万戸の断水が発生し、復旧までに長時間を要しました。特に水道管の「継手の抜け出し」による被害が多発したほか、避難所でも断水が発生し、生活用水が不足しました。新しく取り替える水道管は、抜け出し防止機能を有しており、東日本大震災においても1ヶ所も被害はありませんでした。復旧日数も現在の30日（H23年度）から、18日に短縮される見込みです。